

平成25年度

「栄養教諭を中核とした食育推進事業」

- ・ 推進地域 山中湖村
- ・ 事業委託先 山中湖村教育委員会
- ・ 実践中心校 山中湖村立山中小学校

# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	山梨県
再委託先	山中湖村

## 1 事業推進の体制

実践中心校	山中小
協力校	東小、山中湖中
関係機関	山中湖村学校給食センター

## 2 具体的な取組等について

テーマ1	各教科・領域等における食育に関する指導の充実
評価指標	TT授業の実施状況、外部講師を招いて行った授業の実施状況
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画に沿った指導により、食に関する知識が深まりつつある。</li> <li>TT授業や外部講師を招いて行った授業、栽培活動や調理等の体験活動を通して食に関する興味・関心が高まった。その結果、2学年において朝食の摂取率が高まった。</li> </ul>

### ① 食に関する指導の全体計画の見直し・学年毎の年間指導計画の作成

食に関する指導の全体計画の見直しに加え、新たに学年毎の年間指導計画を作成したことにより、いつ、どこで、何を学ばせるのか明確になり、全教職員が共通理解を持って指導を進めることができた。



### ② 食育への理解を深め、推進していくための校内研修

- 食育の必要性とその進め方について  
武庫川女子大学藤本勇二先生
- 食生活調査から見る児童の実態と食育指導の展開  
山梨県教育委員会スポーツ健康課指導主事早川貞子先生

### ③ 全体計画、年間指導計画に基づく資料や教材の作成

- 月別指導資料の作成  
毎月の指導目標に沿った学習指導案と指導資料を作成し、各学年の実態に合わせて担任が指導を行った。
- カルシウム教材、お節料理の掲示物などの作成  
年間指導計画を見ながら、必要な教材教具を南都留地区食育推進研究会と忍野山中湖地区協議会食育研究会と連携して作成した。



### ④ 全体計画、年間指導計画に基づく授業実践

- 教科や学級活動での授業実践
  - 1年生：学級活動「給食おいしいね」
  - 2年生：学級活動「はやねはやおき朝ごはん！」
  - 3年生：国語科「食べ物のひみつを教えます」
  - 4年生：保健「すくすく育て わたしの体」
  - 5年生：社会科「これからの食料生産」
  - 6年生：家庭科「一食分の献立を考えよう  
～リトルシェフの献立作り～」
- 総合的な学習の時間や作物の栽培・調理等の食に関わる体験活動
  - 1年生：生活科「ポップコーンパーティ」
  - 4年生：総合的な学習の時間「もろこしまんじゅうを作ろう」
  - 5年生：総合的な学習の時間「お米博士になろう」
  - 6年生：地元のホテルシェフを招いて行った「リトル・シェフやまなし」



5年生社会科  
食料生産について  
考えました。



リアルティーの  
ある教材を作り  
ました。

#### 4年生総合的な学習の時間

二分の一成人式で、感謝の気持ちを料理という形に表し、お家の人にもろこしまんじゅうを食べてもらいました。



#### ⑤ 児童会が中心となって行った集会

給食委員会では、「食事マナーを守ろう」をテーマにした集会を実施した。集会後にはチェックカードや、月ごとの目標を決め啓発活動に取り組んだ。保健委員会では、食と歯の健康についての保健集会を実施した。

<b>テーマ2</b>	給食を生きた教材として活用した食育の推進
<b>評価指標</b>	地場産物の使用品目数9品目（H24年度8,9月）→17品目（H25年度8,9月）
<b>効果</b>	給食の時間における食に関する年間指導計画を基に行われる毎日の放送や栄養教諭の巡回指導は、児童の食に対する意識を高め、望ましい食事のとり方の知識や理解が深まった。その結果、食べ物の3つの働きをよく知っていると答えた児童が全校的に増加した。

#### （取組状況）

#### ① 給食の時間における食に関する年間指導計画の作成

- 給食の時間における食に関する年間指導計画を作成し、栄養教諭や給食委員会が中心となって、計画的に指導を行った。
- 栄養教諭は食事のマナー、手洗い、食品の栄養や旬などについての巡回指導、給食委員会は今日の給食の3色の仲間分けに加え、食品の栄養や旬、行事食などについての一とことコメント、食材を当てるクイズ「わたしはだ〜れ」などの放送を行った。また、よくかんで食べるメニューが出る日には、かみかみ王子の歌を流した。



#### ② 地場産物の学校給食への活用

地場産物を給食に少しずつ取り入れていけるよう計画が立てられた。使用する際は、献立表に下線を引き家庭にも知らせた。



#### ③ 食育キャラクターの活用

学校内で食育キャラクターを作り、名前を募集し、「栄養うまうま博士のマッリーモ」に決定した。マッリーモは子ども達に親しみやすく、食に対する意識の高まりにひと役かっている。



#### ④ 学校給食の活用

全国うまいものめぐりやセレクト給食、子ども達が考案したメニューなどを給食の献立に取り入れ、給食に対する興味関心を高めた。全国うまいもの巡りの取組は、4年生の社会科「都道府県を知ろう」や、5年生社会科「自然を生かした農業」の学習に関連できた。

#### ⑤ 図書室や保健室と連携した食育

図書室に食育コーナーを設置した。また、読書週間には絵本の中に出てくる料理を給食の献立に取り入れた。保健室では、体重測定の時間を利用して、低学年は手洗い指導、高学年はかぜに負けない食生活についてミニ保健指導を行った。



#### ⑥ 交流給食の実施

調理員さんと交流給食を行った。調理員がどんな思いで給食を作っているのか考えながら、給食を残さず食べるようになった。

#### ⑦ 食に関する掲示コーナーの充実

校内環境の取組として月別指導目標に沿った掲示物を作成し、毎月掲示を行った。児童が手にとって楽しく遊びながら学習できるような掲示や、保健室の掲示コーナーと関連した掲示など内容も工夫した。掲示物：「給食当番の身支度」「正しい姿勢」「朝ごはん食べよう山」「配膳まなぶくん」「野菜の栄養パズル」「はしの持ち方」等  
展示物：「ヤングコーン」「さるなし」「あけび」等



<b>テーマ3</b>	学校・家庭・地域が連携した食育の推進
<b>評価指標</b>	地域の人材の活用 1回（24年度）→3回（25年度）
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育講演会や料理教室等の実施により、保護者の食に関する意識が高まった。また、これまでの食生活を親子で話合うなどよい機会となった。</li> <li>地域の人材の活用や食育だよりやホームページの掲載によって、学校における食育の取組の理解と協力を得ることが出来た。</li> </ul>

**（取組状況）**

**① 小中連携保健指導部会**

小中連携保健指導部会では、「朝食のとり方」と「歯の健康」について連携して指導を行った。「歯の健康」については、3校共通のおたよりを作成し配布した。

**② 協力校における授業実践**



・東小 1年生学級活動  
「なんでもたべてげんきになろう」



・山中湖中 2年生理科  
「酵素の働きを知ろう」

**③ 食育講演会の開催**

5, 6年児童、村内小中学校保護者対象  
講師：東海大学体育学部 小澤治夫先生  
「子どもの生活習慣と学力・体力・気力との関係について」



**④ 給食試食会・食育学習会**

今年度は、給食試食会後に初めて親子学習会を行った。栄養列車を使って、赤・黄・緑の仲間を学習し、最後にはその仲間を活用したビンゴゲームを行い、楽しく学ぶことが出来た。帰宅後も給食や食についての話題で盛り上がった家庭もたくさんあった。

**⑤ 外部講師を招いての取組**

外部講師を招いて6年生「リトル・シェフやまなし」、PTA社会教育部料理教室、料理クラブの調理実習を行った。甲信食糧主催で行った「リトル・シェフやまなし」は、児童の考案したオリジナルメニューを地元のホテルシェフの指導により調理するという取組である。この活動を通して、調理の仕方や衛生に気をつけて調理することの知識が広まったと同時に、食の大切さや素晴らしさを肌で感じ、「将来、シェフやパティシエになりたいな」とあこがれを持つ児童も増えた。



**⑥ 学校ホームページの食育コーナーの開設、レシピ集の配布**

食育についての取組を広く地域の方々にも知っていただくために、山中小学校のホームページの中に食育コーナーを設けた。また、全24ページのレシピ集は、学校給食の人気料理や村の食生活推進委員がおすすめする料理などを掲載した。



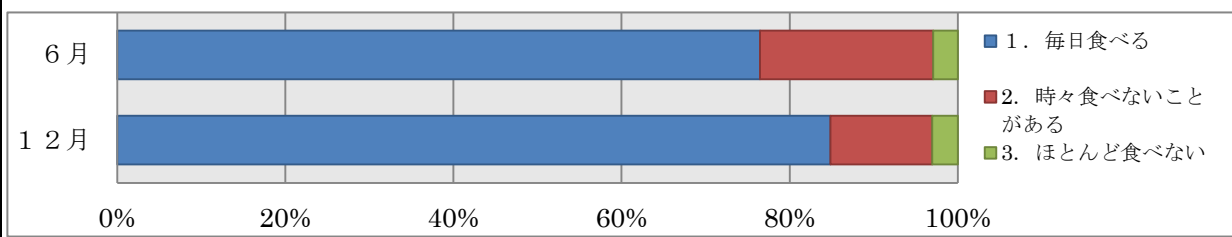
**テーマ1～3に共通する取組**

<b>評価指標</b>	全体計画、年間指導計画の改善または作成状況、食生活アンケートの結果
<b>効果</b>	教職員間の共通理解の下、給食の時間を中心に教科や特別活動など多岐にわたって指導ができたため、児童の食に対する意識が高まった。

**(取組状況)**

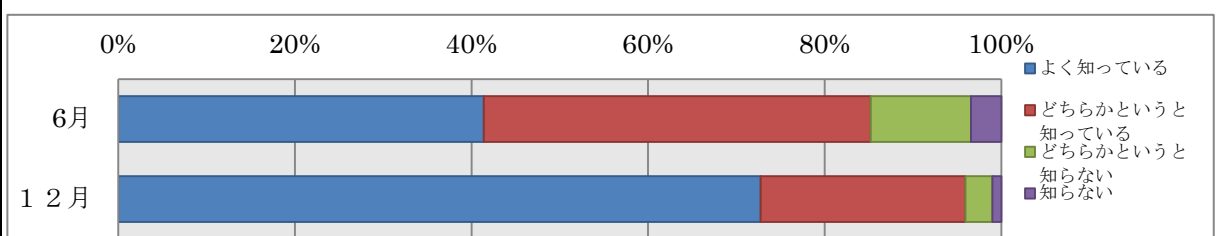
- ① 校内研究に食育研究会を設け、研究推進委員会が中心となって食生活調査の実施や授業実践計画の作成など、全教職員が連携を図りながら食育を推進できた。
- ② 食生活調査を児童に実施し、その結果を授業や講演会など諸活動に活かした。  
第1回目と2回目の食生活調査の結果を比較し、1年間の取組の評価ができた。

**・朝食の欠食率について（2学年）**



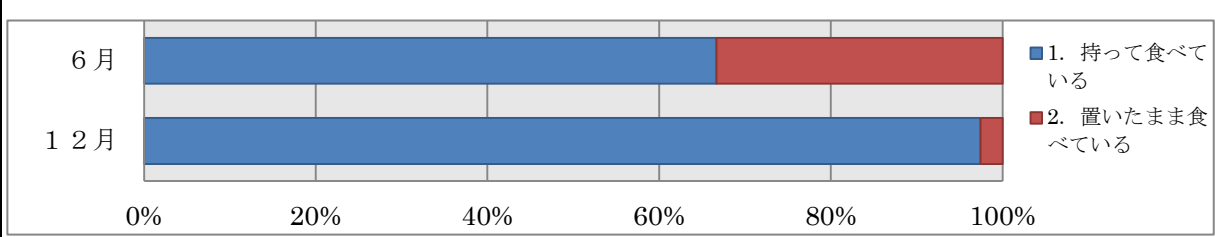
朝食の欠食率の高かった2学年においては、授業参観で「はやねはやおき朝ごはん」の授業を行った成果もあり、「毎日食べる」と答えた児童が8.4%も増加した。しかし、食べない理由については、「おなかがすいていない」「時間がない」と答える児童が変わらず、朝食をとる大切さはわかっているも、生活リズムの乱れが原因で朝食を食べて来られないことがわかった。朝食の指導については、早寝早起きの生活リズムを含めた指導と、家庭での生活習慣をどのように改善していくかについて課題になっている。

**・食べ物3つの働きについて（全校）**



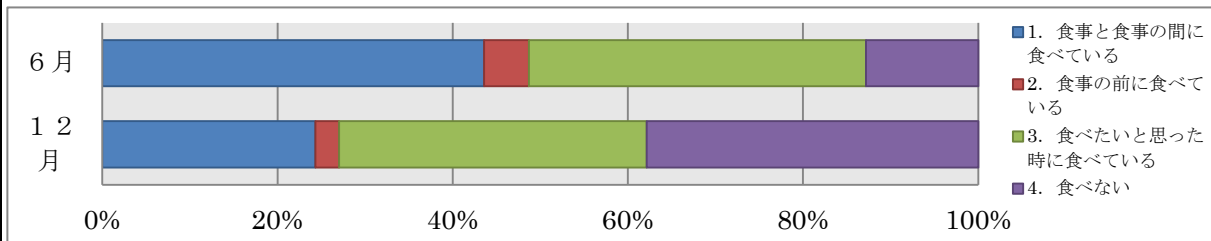
「食べ物には3つの働きがあることを知っていますか」という問いで、6月より12月に行った結果のほうが「よく知っている」と答えた児童が増加した。毎月、配布する指導資料の活用や毎日の給食の放送など日常的な指導が浸透してきた。

**・食事マナーについて（5学年）**



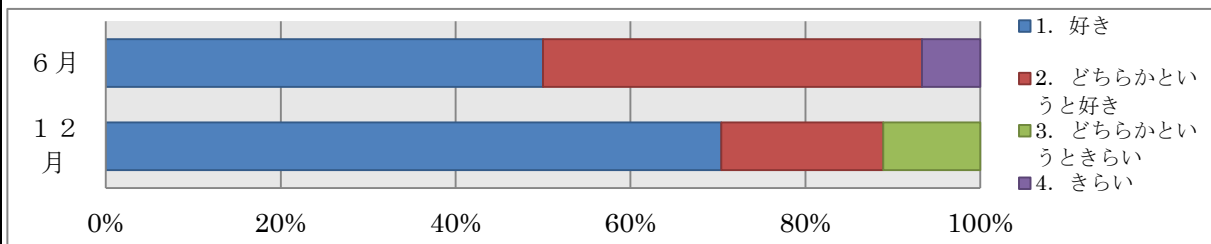
「給食の時、食器を持って食べていますか?」という問いで、「持って食べている」と答えた児童は、全校的に見ても増加した。特に変化の大きかった5学年は、12月の結果ではクラスのほとんどの児童が「食器を持って食べている」と答えた。食事マナーについては、給食委員会が中心となって行った集会、チェック週間、マナー目標など全校で一丸となって取り組み、浸透してきた。

### ・おやつについて（5学年）



5学年では、「おやつをいつ食べますか」という問いで、「食事と食事の間に食べている」と答えた児童が減った分、「おやつを食べない」と答えた児童が増加した。これらのことから、おやつを減らして、1日3食の食事をしっかりと摂ろうとする児童が増えたと考えられる。また、「おやつを食べる」と答えた児童の中でも、時間や量などに気をつけて食べると答えた児童が増加した。

### ・行事食や郷土料理について（4学年）



4学年では、「行事食や郷土料理は好きですか」という問いで、12月のほうが「嫌い」と答えた児童が減り、「どちらかという嫌い」が増加した。また、「どちらかというが好き」と答えた児童が減り、「好き」が増加した。行事食や郷土料理が給食の献立に多数取り入れたり、自分たちで実際に作る体験をしたことで、行事食や郷土料理に興味・関心が高まった。

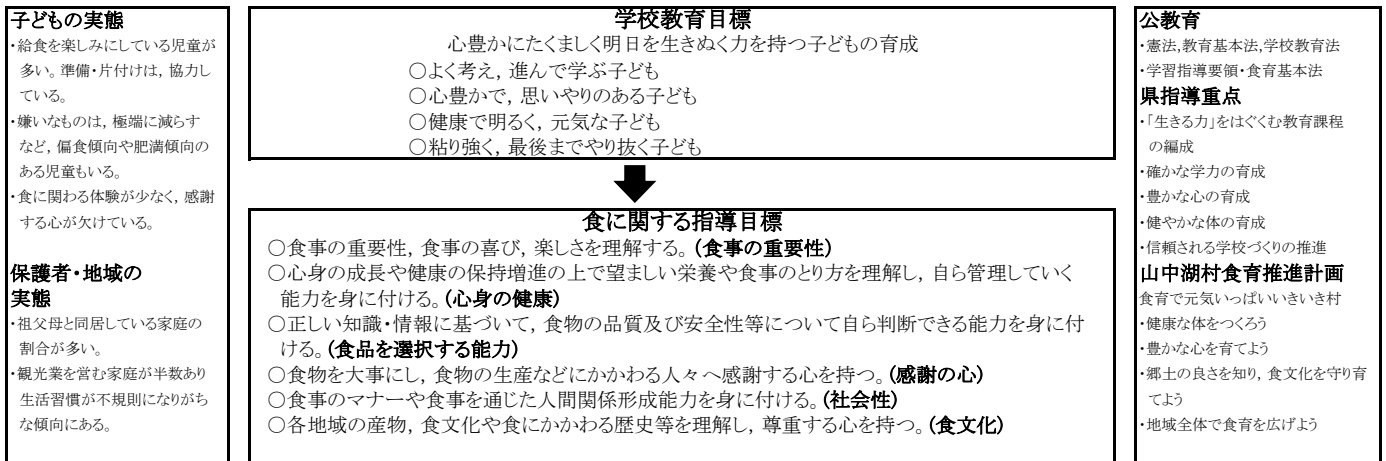
## 3 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- ・食生活調査を行い、児童の実態把握に努めた。また、研究や指導に活かすことができた。
- ・作物の栽培や調理等の体験活動を取り入れたことで、児童の興味関心が高まり、児童が主体となって活動をすることができた。
- ・プロの料理人との交流で、調理の方法や衛生管理大切さを知ると同時に、仕事へのプライドや責任感に触れることができた。
- ・講演会や試食会、食育だよりや学校ホームページなどにより、保護者の食に関する理解が深まった。

## 4 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

- ・授業の直後は食への意識や関心は高まるが、これを持続させていくことは難しい。給食時間の指導を計画的に行うと共に、学級担任との継続的な連携が必要である。
- ・「早寝早起き朝ご飯」の生活リズムを含めて、家庭での生活習慣の確立という点について課題が残る。
- ・小中学校9年間を通じて系統的な指導がなされるように、学校間や教職員間の連携が必要である。

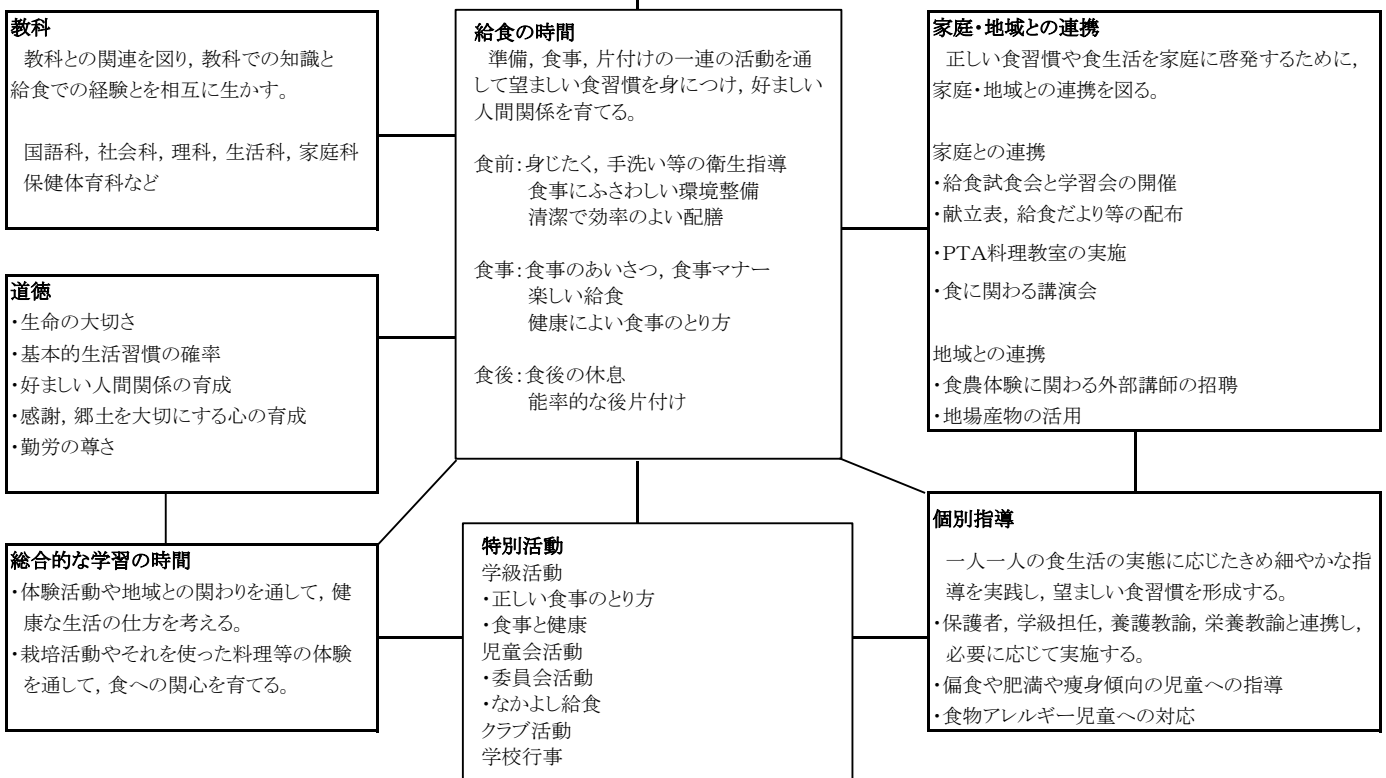
# 平成25年度 食に関する指導の全体計画



## 各学年の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標

<p><b>幼稚園</b></p> <p><b>保育園</b></p> <p>交流を深め、実態の把握に努める</p>	<p><b>低学年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなと楽しく会食できる。</li> <li>食べ物に興味を持ち、いろいろな食べ物の名前がわかる。</li> <li>食事を作ってくれた人に感謝して食べることができる。</li> </ul>	<p><b>中学年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事のマナーを考えて、楽しく食べることができる。</li> <li>健康と食事のかかわりについて理解し、いろいろな食べ物を好き嫌いしないで食べようとする。</li> <li>食事に関わる多くの人々や自然の恵みに感謝して食べることができる。</li> </ul>	<p><b>高学年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく会食することを通して、豊かな心と望ましい人間関係を育む。</li> <li>バランスのとれた食事の大切さを理解し、一食分の献立を考えることができる。</li> <li>衛生に気をつけて簡単な調理ができる。</li> <li>食文化や食品の生産、流通、消費について理解を深める。</li> </ul>	<p><b>中学校</b></p> <p>交流を深め、実態の把握に努める</p>
--	--	---	---	--

## 指導場面



		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特別活動	主題	楽しい給食	食事作法	じょうぶな骨や歯	健康によい食事(夏の食生活)	規則正しい食生活	バランスのよい食事	食べ物の栄養①(野菜・果物・いも・米)	健康によい食事(冬の食生活)	食について考えよう	食べ物の栄養②(魚・大豆・海藻)	一年間の反省		
	ねらい	給食の決まりについて理解する。進んで当番の活動ができる。	基本的な食事の作法を身につける。	じょうぶな骨や歯をつくるために必要な食生活がわかる。	夏を健康に過ごすための望ましい食習慣を身につける。	規則正しい食生活の大切さがわかる。	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることができる。	食べ物の栄養を知り好き嫌いをく何でも食べることができる。	冬を健康に過ごすための望ましい食習慣を身につける。	給食の歴史や意義について知り、食べ物大切さがわかる。	食べ物の栄養を知り好き嫌いをく何でも食べることができる。	一年間の給食(食生活)を振り返って食生活への関心を高める。		
	指導内容	1年	給食の決まり	基本的な食事のしかた	牛乳を飲もう	おやつのととり方	食事の大切さ	食品の3つの仲間	食べ物の名前	寒さに負けない食事	学校給食週間	食べ物の名前	給食の反省	
		2年	給食の決まり	はしの使い方	よくかんで食べる	上手なおやつのととり方	朝食を食べよう	食品の3つの仲間	野菜を食べよう	寒さに負けない食事	学校給食週間	魚を食べよう	給食の反省	
		3年	給食の決まり	和食のマナー	カルシウムの働き	夏の食生活	3度の食事	食品の3つの仲間	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食ができるまで	大豆の栄養	給食の反省	
		4年	給食の決まり	食事のあいさつ	かむことの効果	夏の食生活	朝食の大切さ	バランスよく食べる	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食の歴史	海藻の栄養	給食の反省	
		5年	楽しい給食の工夫	食事のマナー	カルシウムのとり方	夏の飲み物とおやつ	生活のリズム	バランスよく食べる	米の栄養	かぜに負けない食生活	郷土食・行事食	食物繊維	食生活の反省	
6年		楽しい給食の工夫	会食のマナー	骨粗しょう症	おやつを選び方	栄養・運動・休養	バランスのよい食事	貧血と食生活	かぜに負けない食生活	日本の食糧事情	生活習慣病	食生活の反省		
児童会活動と学校行事	給食試食会・親子学習会		PTA料理教室		パクパクモグモグ運動									
		給食委員会(通年)	なかよし給食											
教科	生活	1年	それいけ学校探検・ぐんぐんそだて(ポップコーン)		ポップコーンパーティをしよう									
		2年	ぐんぐん育てみんなの野菜・まちを探検大発見		収穫パーティをしよう			おもいパーティをしよう						
	理科	3年	植物を育てよう・植物のからだを調べよう											
		4年	暖かくなると		暑くなると	涼しくなると								
		5年	植物の発芽と成長・生命の誕生(魚)		花から実へ			人の誕生						
		6年	動物のからだの働き	植物のからだの働き	生き物のくらしと環境			人と環境						
	社会	3年	私たちの村はどんな村・私たちの村の様子			見直そうわたしたちの買い物			買い物調べをしよう・店を調べに行こう・上手な買い物をするために			昔の暮らしを調べよう 村の人たちが受け継ぐ行事 昔のくらし		
		4年				ごみの処理と利用			郷土を開く			私たちの県 県民の暮らし・富士北ろく地域		
		5年	食料生産を支える人々		農業の盛んな地域を訪ねて		水産業の盛んな地域を訪ねて		これからの食料生産			環境を守る人		
		6年	大昔の暮らし・国づくりの歩み	大陸に学んだ国作り	武士の政治が始まる					戦争と人々の暮らし			日本とつながりの深い国々	
	家庭科	5年	はじめてみようクッキング		元気な毎日と食べ物(五大栄養素、バランスのよい食事、ごはんのみそ汁)									
		6年	工夫しよう朝の生活、朝食を考えよう		工夫しよう楽しい食事(1食分の献立を考える、計画を立てておかずを作る)								考えようこれからの生活	
	保健体育	3年	毎日の生活と健康											
		4年	育ちゆく体とわたし											
		5年	心の健康											
		6年	病気の予防(生活習慣病)											
他教科					国1おおきなかる		国1かたかなをみつけよう		国3すがたをかえる大豆・食べ物のひみつを教えます		外5ランチメニューを作ろう			
道徳	1年たのしい学校		5年生命尊重・郷土愛・感謝の心			4年郷土愛		5年望ましい生活習慣を築ける人に・郷土愛		3年感謝する心		5年国際理解		
総合			バケツ稲を作ろう					収穫・脱穀		精米・試食		感謝祭		
個別指導	偏食 肥満、痩身 食物アレルギー スポーツ栄養等 (担任、養護教諭、栄養教諭、保護者と連携し、必要に応じて随時実施)													
家庭・地域との連携	献立表、給食だより、学年だより、給食試食会、学習会、PTA社会教育部料理教室、地産地消													
献立計画	教科・学級活動に対応した献立 行事食 郷土食 旬の食材 地場産物													





# 給食の時間における食に関する年間指導計画

# 山中小学校

月	学級活動		給食時間の指導内容 (学級訪問・一ロメモなど)	関連教科等	献立計画					給食委員会の活動
	主題	ねらい			献立作成のポイント	行事食等	教科等の関連	旬の食品	地場産物	
4	楽しい給食	給食の決まりについて理解する。 進んで当番の活動ができる	給食の決まり・手洗い 給食当番の仕事・身支度 能率的な準備や片付け 旬の食べ物	1年学活: 給食の決まり 3年理科: 植物を育てよう・植物のからだを調べよう 4年理科: 暖かくなると 6年家庭: 工夫しよう朝の生活・朝食を考えよう	・新入生に期待感を持たせ、食べやすい献立にする。 ・新入生の食事状況に配慮しながら量は少なめにする。 ・春を感じられる献立を工夫する。	入学・進級祝い		菜の花 いちご 春キャベツ さくら たけのこ	【通年】 米粉・クレソン	委員会の組織作り 年間活動の計画作り 委員会の仕事の確認
5	食事作法	基本的な食事の作法を身につける。	食事のマナー・あいさつ はしの使い方 和食や洋食のマナー 節句と行事食	2年生活: まちを探検大発見・給食センター見学 2年学活: はしの使い方 3年社会: 私たちの村はどんな村・給食センター見学 5年家庭: はじめてみようクッキング	・春の食材を使って味や香りを楽しめるようにする。 ・初夏のさわやかさを感じられるようにする。	端午の節句 八十八夜	6年生考案朝食メニュー	たけのこ かつお 新じゃが 山菜 新タマネギ 甘夏 アスパラガス 新茶		食事マナーチェック・呼びかけ(通年) 行事食についての放送(通年) 調理員さん招待給食の計画 給食当番の身支度チェック
6	じょうぶな骨や歯	じょうぶな骨や歯をつくるために必要な食生活がわかる。	虫歯予防について 牛乳を飲もう よくかんで食べよう カルシウムの働き	3年学活: カルシウムの働き 4年学活: かむことの効果 6年学活: 骨粗しょう症 6年理科: 動物の体の働き	・骨や歯をじょうぶにし、あごの発達を促す食品を取り入れる。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	むし歯予防デー 梅雨入り	カルシウムを多く含む食品 かみかみメニュー	新じゃがいも 新たまねぎ アスパラガス うめ メロン	河口湖レタス	食育月間ポスター作り バクバクモグモグ運動
7	健康によい食事(夏の食生活)	夏を健康に過ごすための望ましい食習慣を身につける。	夏の食生活のポイント 夏野菜を食べよう おやつのと리카た 夏休みの過ごし方	5年学活: 夏の飲み物とおやつ 4年社会: 暑くなると 2年学活: 上手なおやつのと리카た 6年保健: 病気の予防	・食欲をそそり、涼しさを感じさせる工夫をする。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	たなばた 土用の丑の日 セレクト給食	夏野菜を使ったメニュー	かぼちゃ なす きゅうり トマト ピーマン すいか とうもろこし	河口湖レタス 夕顔	給食集会 放送「水分補給」 セレクト給食の計画
8・9	規則正しい食生活	規則正しい食生活の大切さがわかる。	給食の決まり、マナーの確認 生活リズムの大切さ 朝食の大切さ 夏ばて回復の食事	2年生活: 収穫パーティをしよう 4年社会: ごみの処理と利用 4年学活: 朝食の大切さ 5年学活: 生活リズム	・食欲をそそる工夫をする。 ・運動会の練習に配慮し消化吸収のよいものを取り入れる。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	重陽の節句 十五夜・月見 敬老の日 お彼岸		さといも なす さんま さば えだまめ なし ぶどう	とうもろこし なす・ズッキーニ じゃがいも 夕顔	給食当番の身支度チェック 朝食のポスター作り、呼びかけ

月	学級活動		給食時間の指導内容 (学級訪問・一口メモ など)	関連教科等	献立計画					給食委員会の活動
	主題	ねらい			献立作成のポイント	行事食等	教科等の関連	旬の食品	地場産物	
10	バランスのよい食事	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることができる。	食べ物の3つの仲間 運動と栄養の関係 目によい食べ物 秋の食べ物	1年学活:食品の3つの仲間 1年生活:ポップコーンパーティをしよう 6年学活:バランスのよい食事 5年家庭:元気な毎日と食べ物(5大栄養素、バランスのよい食事・ごはんのみそ汁) 6年家庭:工夫しよう楽しい食事(一食分の献立を考える・計画を立てておかずを作る)	・秋を感じられる献立を工夫する。	体育の日 目の愛護デー ハロウィン	ごはん・みそしる	きのこ さといも さんま いわし さけ くり ぶどう かき	ぶどう	食事マナーチェック・呼びかけ(通年) 行事食についての放送(通年)
11	食べ物の栄養①(野菜・果物・いも・米)	食べ物の栄養を知り、好き嫌いなく何でも食べることができる。	秋の食べ物 野菜の栄養・果物の栄養 いもの栄養・米の栄養 感謝して食べよう	2年生活:おいもパーティーをしよう 3年学活:野菜を食べよう 6年学活:米の栄養 6年社会:これからの食料生産 5年家庭:元気な毎日と食べ物(7大栄養素、バランスのよい食事・ごはんのみそ汁) 6年家庭:工夫しよう楽しい食事(一食分の献立を考える・計画を立てておかずを作る)	・秋の味覚を楽しめる献立を工夫する。 ・収穫物を利用するなど感謝の心を育てる工夫をする。	いい歯の日 七五三 県民の日 勤労感謝の日	新米・いも 野菜・くだもの 鉄を多く含む食品	さつまいも きのこ だいこん はくさい さけ いわし りんご		バクバクモグモグ運動
12	健康によい食事(冬の食生活)	冬を健康に過ごすための望ましい食習慣を身につける。	寒さに負けない食生活 かぜの予防 冬野菜を食べよう 冬休みの過ごし方	4年社会:私たちの県 6年家庭:工夫しよう楽しい食事(一食分の献立を考える・計画を立てておかずを作る) 6年保健:健康な生活 3年国語:すがたをかえる大豆・食べ物のひみつを教えます	・体を温める食事の工夫をする。 ・かぜを予防する食事の工夫をする。 ・冬の食材を取り入れる。	冬至 クリスマス 年取り	冬野菜を使ったメニュー 大豆製品 5年生考案のみそしる	ほうれんそう ごぼう はくさい だいこん ブロッコリー みかん たら ぶり ゆず	白菜	放送「かぜを予防する食事」 お楽しみ給食の計画
1	食について考えよう	給食の歴史や意義について知り、食べ物の大切さがわかる。	給食週間について 給食ができるまで 郷土食・地場産物 感謝して食べよう	1年学活:学校給食週間 4年理科:寒くなると 4年保健:育ちゆく体とわたし 4年社会:県民のくらし・富士北ろく地域 5年外国語:ランチメニューを作ろう	・体を温める食事の工夫をする。 ・郷土食を取り入れる。 ・地場産物を取り入れる。	正月料理 七草・鏡開き 小正月 学校給食週間	郷土食 地場産物	れんこん こまつな 春菊 ブロッコリー はくさい みかん ぶり		給食新聞(学校給食週間、地場産物について)を作成
2	食べ物の栄養②(魚・大豆・海藻)	食べ物の栄養を知り、好き嫌いなく何でも食べることができる。	魚の栄養 海藻の栄養 大豆の栄養 生活習慣病と食生活	3年学活:大豆の栄養 3年学活:毎日の生活と健康 6年学活:生活習慣病 6年社会:日本とつながりの深い国々	・豆類、魚、海藻を取り入れる。 ・春のいぶきを感じられるようにする。	節分・立春 バレンタインデー	魚 大豆 海藻 食物繊維を多く含む食品 6年生の考案した一食の献立(リクエストメニュー) 世界の料理	ブロッコリー 春菊 水菜 いよかん ぼんかん	わかさぎ	調理員さんへ感謝の手紙作成
3	一年間の反省	一年間の給食(食生活)を振り返って、食生活への関心を高める。	1年間の給食の反省 1年間の食生活の反省 望ましい食習慣	3年社会:昔のくらし 6年理科:人と環境	・春を感じられる献立を工夫する。 ・楽しい思い出になるよう工夫する。 ・卒業、進級を祝う。	ひなまつり 卒業祝い		さわら 菜の花 いよかん はっさく いちご	わかさぎ	お楽しみ給食の計画 今年度の活動のまとめ 来年度の課題

# 第5学年1組 社会科学学習指導案

指導者 山中小学校 5-1

T 1 学級担任 横田 はつき

T 2 栄養教諭 萩原 香織

日 時 平成 25 年 11 月 13 日(水)5 校時

場 所 山中小学校 5-1 教室

## 1 単元名 「これからの食料生産」 (総時間数 4 時間)

## 2 目標

- ・我が国の食料生産には、食料の輸入増加や、自給率の低下、食生活の変化、食料の安全性、環境への配慮などの問題点があることを理解し、安全な食料確保のための食料生産、国際協調のあり方を考えようとする。
- ・安全な食料確保のために、食料生産をめぐる問題をどのように解決するか、自分の考えを持って話し合いに参加し、自分なりの考えを深める。

## 3 単元設定の理由

### (1) 教材観

本単元は、食料の輸入増加や、自給率の低下、食生活の変化、食料の安全性、環境への配慮など、食料生産を取り巻く問題について考えさせることをねらいとしている。学校の中で、一番身近な「食」は、「給食」だが、産地を意識して食べている児童は少ない。毎日何気なく食べている給食のルーツを探り、給食を中心に日本の食料生産の問題や、食生活の見直しをしていく。

本単元では、近い将来に食料を安定して確保するのが難しくなるのではないかという危機感を持ち、食料不足にならないようにするために、消費者としてどのような工夫ができるかを学ぶ。これまでの学習で、米の自給率や、農業従事者の減少、稲作や漁業に関する問題点などの、既習事項も活かしながら自分の考えを持たせたい。そして、資料をもと根拠をあげて説明する力と、その子自身が実際の生活に結びつけて、食を選択できる資質や能力を育てていきたいと考え、本単元を設定した。

### (2) 指導観

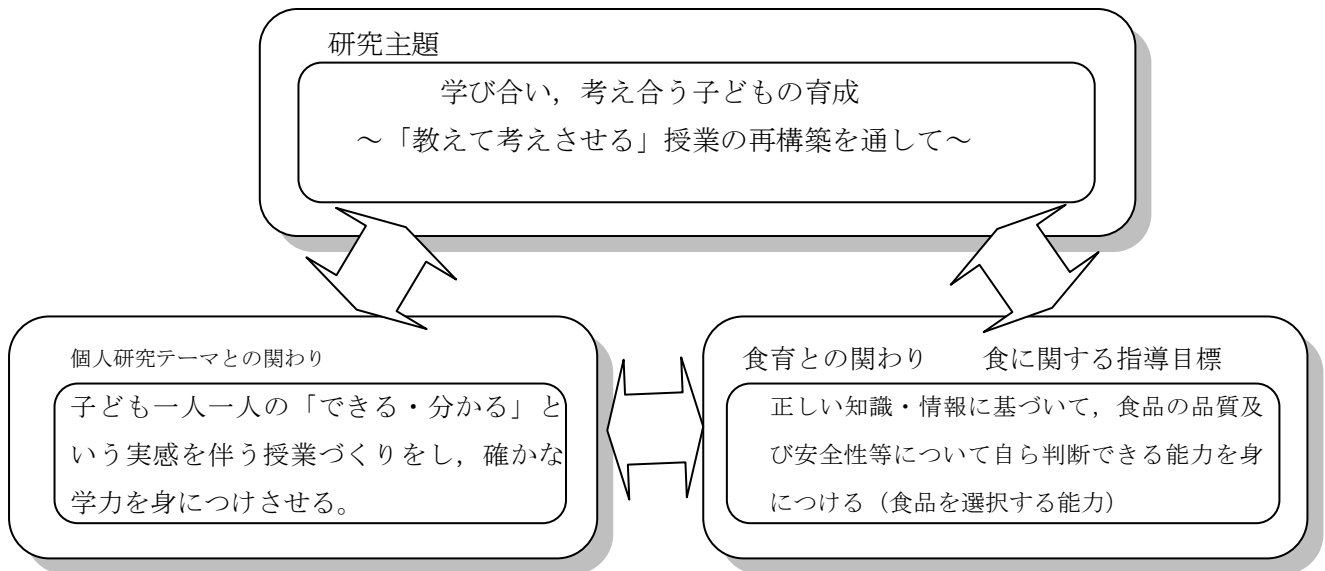
本単元の指導にあたり、次のことに留意して指導を行う。

本単元において、自分たちに身近な食（給食）と、生産のつながりを学んでいく。食料自給率を取り上げる時に、日本と外国の自給率や、給食と外食の自給率の二つを比較しながら特徴を捉えることで、国や取り扱う食材によって自給率が異なることに気づかせるとともに、その理由についても考えさせたい。また、子どもたちが資料から読み取ったことをもとに、自分の考えを持つための手立ての一つとして、単元を通してノートに資料を貼っていく。毎時の課題に対して、資料・分かったこと・考え・学習感想を学習の足跡として残しておく。そうすることで、既習事項を生かし根拠のある考えを持つことができるようにしたい。

子どもたちは、ともすると食料生産を増やすことばかりに目が行くが、地球上の耕地が限られていることを考慮すると、単位当たりの収穫の多い農作物の開発や、食べ物を残さないなどといった視点も大切にしたい。

(3) 校内研究・食育との関わり

授業の基本的な構想



◎目指す子どもの姿

- ・自分の考えを持つことの出来る子  
(正しい知識や情報に基づいて，食べ物の品質及び安全性について，自ら判断できる子)
- ・社会的事象に対する見方・考え方を深めることの出来る子  
(自分だけの見方・考え方だけに閉じず，様々な視点から食を見つめる事の出来る子)
- ・学びを生活で実践できる子  
(自分たちの食生活を振り返り，環境や安全性に配慮した食生活を実践出来る子)

これまでの食育に関する取り組み

- ・学校発行の「食育だより」による家庭への呼びかけ
- ・給食の配膳方法や給食当番の行い方，片付けのしかたなどの指導
- ・給食の時間に行われる献立の説明
- ・給食の時間における，マナーについての指導
- ・保健で，飲み物と糖分に関する授業
- ・総合でバケツ稲の栽培

**4 児童の実態**

本学級の児童は，明るく，元気で様々なことに興味・関心を持ち，行動的な児童が多い。社会科の学習において，三年生では，「店の人の仕事」でスーパーマーケットや小売店で働く人々を学習し，四年生では，「私たちの山梨県」で県内の農業の様子を学習してきた。五年生では，「農業の盛んな地域をたずねて」や「水産業のさかんな地域をたずねて」を学習し，農業では働く人が少なくなっていることや，水産業では漁獲量が減少していることを学んでいる。日本や世界をもっと知りたいという興味は，自ら課題を持って学習する姿から，高いように感じられる。しかし，グラフや資料から，読み取れる事実をうまく文に書けない児童がいる。また，読み取った事実から考察をすることに多くの児童が苦勞している。まず資料に書かれていることを読み取り，確認する活動を通して読み取る力を付けさせ，さらにその情報を選択して活用していく力をつけていきたい。

食料生産についての事前の結果は以下の通りであった。（2013年9月9日質問紙調査実施）

○知っていること

・食料自給率とは何か

知っている	1人	・日本が消費しているものに対して、 その中で日本産である率
知らない	38人	

・日本の食料自給率ほどのくらいか

知っている	0人
知らない	39人

○日本の食料の安全性

安全	19人	49%	・美味しく、食べても具合が悪くならないから。 ・外国と比べて値段が高く、安心できるから。
まあ安全	13人	33%	・確実に安全と言えるものはないから。 ・食べ物をチェックをしている人がいるから。
少し危険	6人	15%	・食中毒が増えている気がする。 ・外国から輸入してきたものがあるから。 ・農家や漁師が減ってきているから。
危険	1人	3%	・質より量を考えていて、安いから不安。 ・ニュースでパンに針が入っていたから。

○日本の食料の問題点

- ・ない
- ・食中毒などが多いところ。
- ・賞味期限がギリギリなのに売っている。
- ・パンに針が入っていた。
- ・食料自給率が少し低く、輸入が多い。

○世界の食料の問題点

- ・なし
- ・ご飯が無くて虫や草や泥水を食べたり飲んだりしている国がある。
- ・アメリカではヘリコプターで農薬をまいている。
- ・外国産のお米は黒いところがある。
- ・中国から食料を輸入しているけど、PM2.5やダンボール肉まんなど危険。
- ・どこかの国で、給食に毒が入っていて死んでしまったニュースがあった。
- ・工業化が進み、緑の面積が減り、食べ物を作る土地がなくなっている。

食育の視点から

・自分で買い物をしますか。 はい 39人（全員）

・食べ物を選ぶとき、何を見て選びますか。

味・・・21人      おまけ・・・4人      産地・・・2人      大きさ・・・1人      重さ・・・1人  
賞味期限・・・5人      見た目・・・3人      量・・・1人      カロリー・・・1人

調査の結果から、次のような児童の実態が分かった。

- ① 食料自給率の意味をほとんど知らない。日本の食料自給率の数値についても、全員が知らない。
- ② 日本の食料の安全性については、大半が「安全」「まあ安全」と答えた。その理由として、「美味しいから」「食べても具合が悪くなったことがないから」という回答が11人と一番多く、安全という認識が高かった。
- ③ 日本の食料自給率の問題点を挙げた児童も数名いたが、半数以上の28名が「問題はない」と答えた。
- ④ 世界の食料の問題点で、食料不足・環境問題・安全性という意見は少し出た。しかし、13名が「問題はない」と答えた。日本の食料問題と比べると、世界の食料問題のほうが危険が多いと認識している子どもが多い。
- ⑤ 自分で買い物をするが、買い物をする視点は半数が味と答え、食料生産の視点は少ない。

5 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象 についての 知識・理解	食育の視点
単 元 の 評 価 規 準	我が国の食料生産に関心を持ち、意欲的に調べ、国民の食生活を支える我が国の食料生産の発展を考えようとしている。	我が国の食料生産の様子から学習問題を見出して追求し、国民の食料を確保している重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりを持つて営まれていることについて思考・判断したことや言語などで適切に表現している。	我が国の食料生産の様子を的確に調査したり、統計などの各種の資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりを持つて営まれていることを理解している。	正しい知識や情報に基づいて、食の品質及び安全性などについて自ら判断し、環境や資源に配慮した食生活を実施しようとする。
学習 活動 に即 した 評価 規準	自分の生活と、食料生産の関わりに気づき、食料生産に関心を持つとうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の食料生産に関する問題点について、自分なりの考えを持つことができる。</li> <li>食料生産は、自然環境と深い関わりを持つて営まれていることを考え適切に表現している。</li> </ul>	食料生産に関する問題点について、グラフや表などの資料から読み取り、必要な情報を集め、読み取っている。	食料生産は、様々な問題を抱え、それらの解決策を理解している。	正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。

6 指導・評価計画 本時は、4時間中の4時間目

区分	小単元	学習活動（太字は主発問）	評価の観点				評価の方法
			関	思	技	知	
第1次	○こんなに減ってしまふの？	日本の食料生産は、どんな問題を抱えているのだろう。 ・自給率という言葉を理解する。 ・日本と外国の自給率を比べたり、食品ごとの自給率を表示から知る。 ・ <b>食料の輸入が増えたわけを考えよう。</b> ・自給率を高めて入った方が良いことに気づく。	○	◎			ノート 発表 発言
第2次	○安くて便利だが	食生活を、どのように見直していけばよいのだろう。 ・ <b>今の食生活の問題について考えよう。</b>		◎		○	観察 行動 ノート
第3次	○食料を安定して確保していくために	・資料をみて、世界の食料の問題点をとらえる。 ・ <b>食料不足にならないためにはどうしたらよいかを考えよう。</b> ・自分の考えをノートにまとめる。			○	◎	ノート 発表 発言
第4次 (本時)	○どれを買うのか考えよう	・食料問題の振り返り ・ <b>これまでの学習をいかして、どれを買うのか考えよう。</b> ・グループでアドバイスをし合う。		○	◎		学習プリント 発言

## 7 本時の学習 (第4時)

(1) 日時 平成25年11月13日(水)5校時

(2) 場所 5年1組教室

(3) 本時のねらい

- ・買い物をする時に自分は何を重視して買うのか既習事項を元に、根拠を持って自分の考えを伝え合うことができる。(思考・判断・表現)
- ・資料から、必要な情報を集め、読み取ることができる。(技能)

(4) 食育の視点

- ・自分自身の実際の生活と結びつけ、様々な視点から課題を考えることができる。  
(食品を選択する能力・社会性)

(5) 展開

時	児童の活動	指導上の注意点		備考 ◆評価計画
		T1	T2	
つ か む	1、既習事項の確認をする。 ・掲示されたグラフや表を見ながら、既習の学習内容を振り返る。  2、消費者の立場になり、提示されたどの米を買うのかについて考える。	・グラフや表で、既習事項の確認する。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格</li> <li>・安全</li> <li>・環境</li> <li>・地産地消</li> </ul>           (食料自給)         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の幸せ・その他</li> </ul>	・日本の食料自給率について確認する。 ・米の袋を掲示する。	学習プリント
これまでの学習を活かして、どのお米を買うのか考えよう。				
も と め る  ふ か め る	3、自力解決をする。 ・袋の表示を見て、どのお米を買うのか自分の考えを決める。 ・自分の考えた理由やその根拠を学習プリントに記入する。  4、自分の考えをグループで発表し合う。 ・自分の考えの、 <u>選んだ理由や根拠</u> をグループで発表し合う。 ・友だちの考えについて、グループの中で、根拠を持った意見かアドバイスや質問をし合う。  5、全体で発表し合う。 ・ノートの中から自分の意見の根拠となる資料を見つけて発表する。	・前時までのノートを見ながら考えを決めさせる。 ・選択した根拠を持たせる。  ・人を納得させるための根拠となっているかをグループで考えさせる。  ・同じものを選択しても、根拠が違う場合、色々な考えをクラス全体に広める。	・疑問点や分からないことがある児童にノートを見せながら説明する。  ・意見を黒板に板書する。	◆資料から、必要な情報を集め、読み取ることができたか。 (技能) <b>【プリント】</b> ◆何を重視して買うのか既習事項を元に、根拠を持って自分の考えを伝え合うことができたか。 <b>【発言・プリント】</b>



ま と め る	6、学校給食での考えを知る。  7、学習感想を、ワークシートに書く。 ・自分が選択した根拠や、アドバイスをふまえ、自分の考えや感想をワークシートにまとめる。	・様々な視点で買い物をする良さに気づかせる。	・給食では米をどのように選んでいるのか・学校給食の食料自給率を知らせ、食品を選ぶ際に気をつけていること伝える。	◆自分自身の実際の生活と結びつけて問いを考えることができたか。【プリント】
------------------	---	------------------------	---	---------------------------------------

(6) 評価

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子への手立て(C)
自分の考えを根拠を持って伝え、友人の考えを聞いて、買い物をするときの新しい視点に気づくことができる。	自分の考えを根拠を持って伝え、買い物をするときの視点に気づくことができる。	ノートや教科書を振り返りをさせながら、買うものとその根拠になる資料を関連付けさせる。

(7) 板書計画

これからの食料生産④

これまでの学習をいかして、どのお米を買うのか考えよう。

①



1980円

②



5000円

③



6000円

価格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安いから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い</li> </ul>
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬を使っているかもしれないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーサビリティ</li> <li>・顔がわかって安心</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠いので燃料がかかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料をあまり使わない。</li> <li>・燃料をあまり使わない。</li> </ul>
地産地消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自給率を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消している。</li> </ul>
食料生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い物を食べて、食料がない場所にいくといい。</li> </ul>	

## 8 資料

### (1) 本時までのノート計画

#### 第1時

これからの食糧生産①

日本の食料生産はどんな問題を抱えているのだろう。

① 食料自給率が低い問題

自分の国で必要な食料を自分の国で生産している割合

日本 39% (2013年)

**ア**

◎日本は他の国と比べて食糧自給率が低い。

↓

心配

- ・戦争がおきたら食べ物がなくなる。
- ・不作の年は、食べ物がなくなる。

② 輸入が増えている問題

理由

- ・外国産の値段が安いから。
- ・交通が発達したから。
- ・冷凍技術が高くなったから。

**ウ**

◎日本の食料輸入額の変化 (百万円)

**エ**

◎日本産と外国産の食料の値段(2008年 産科水産省、農産物販売単価)

自給率を上げる  
↓  
国産品を買う  
↓  
食生活を見直す

学習感想

#### 第2時

### これからの食料生産②

食生活は、どのように見直していけば良いか考えよう。

① 安全か？

- ・農薬を使っていないか。
- ・賞味期限・消費期限を見る。
- ・食品添加物を見る。
- ・遺伝子組み換えが良いのか。

**カ**

② 健康によいか？

- ・加工品ばかりではないか。
- ・油や糖分が多すぎないか。

③ 環境に優しいか？

**キ**

えびの養殖  
↓  
マングローブを切る  
↓  
輸出国の環境はかい。

・輸送の時、空気汚染やエネルギーのむだづかいをしていないか。

**ク**

・生産するとき、エネルギーのむだづかいをしていないか。

**キ**

エコファーマーマーク

④ 世界の幸せになっているか？

**ケ**

・食料を買える国と買えない国。

・食べ残していないか。

学習感想

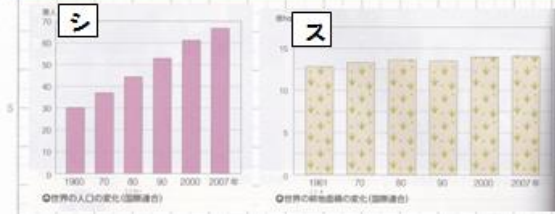
**コ**

◎捨てられる食料

第3時

これからの食料生産③

食料を確保するためのくふうを考えよう。



- 分
- ・世界の人口は増えている。
  - ・耕地面積は変わらない。

考 このままでは **食糧不足**

みんなの考え

- ・食べ残しをしない。
  - ・食べ物をたくわえておく。
  - ・農業につく人を増やす。
  - ・収穫量の多い品種をつくる。
  - ・地産地消をする。
  - ・環境汚染をしないように、
- 国産のものを買う。



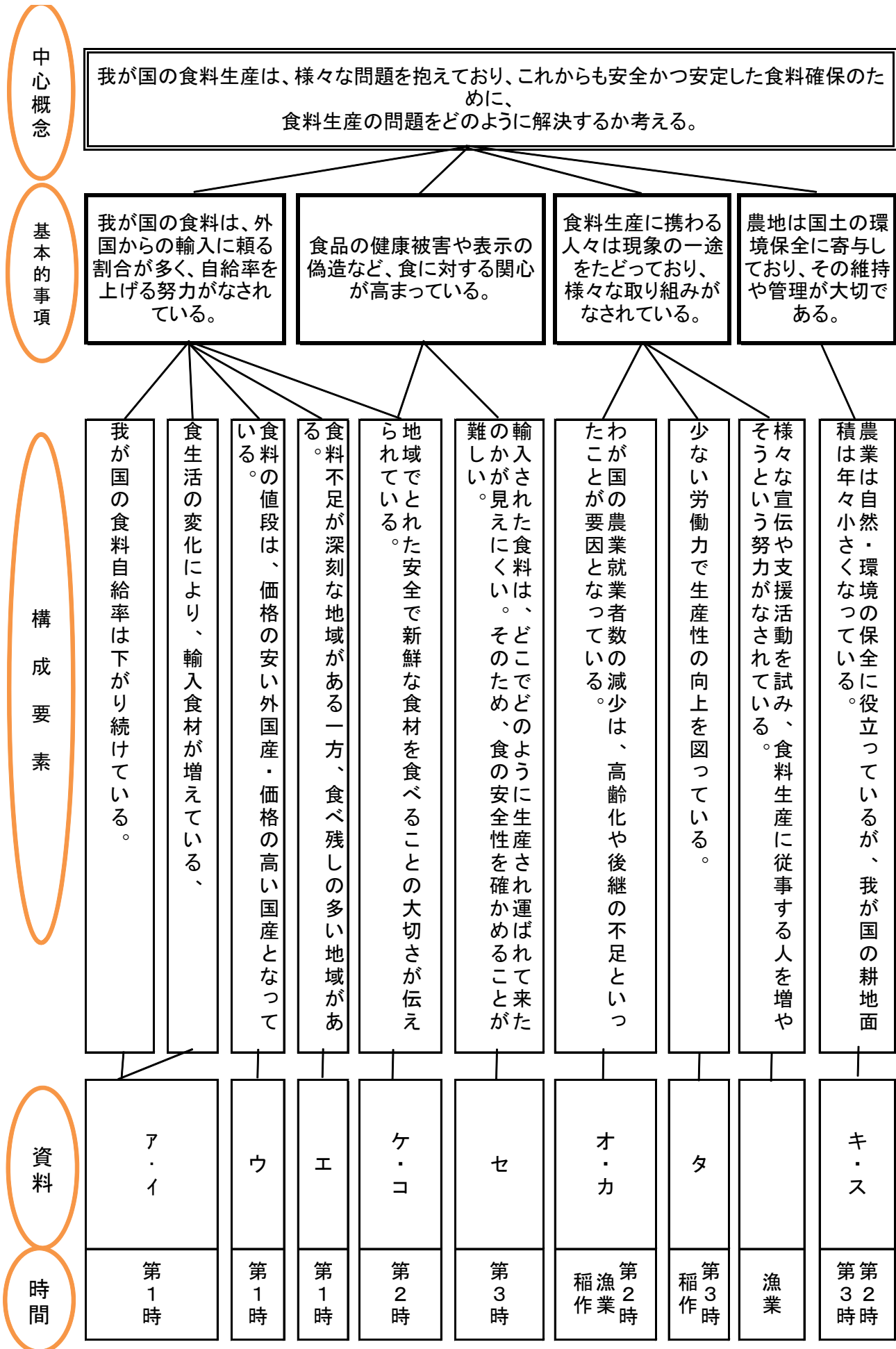
リ



- ・収穫量の多い品種を作る。
- ・休耕地をつかう。

学習感想

(2) これからの食料生産 教材



(3) 学習プリント

どれを買うか、考えよう。

5年( )組 名前( )

1、あなたは、どのお米を買いますか？

①

②

③

まぐとんごうごうー

**外国産米**

ベリーグッド  
我的謝謝  
Thank  
You!!!

10kg

**1980円**

平成二十四年度産  
**古米**

おしこ日本一  
私が、  
まぐとんごうごう、  
作りました。

携帯サイト

QRコードで  
簡単アクセス

**10kg**

生産者: 今井 (JA)

**5000円**

**新米**

**山梨県米**

富士吉田産

やまなし KENBEI  
**10kg**

**6000円**

私は、( ① ② ③ ) を選びます。

なぜかというと

だからです。



今日の、授業を終えて、学習感想を書きましょう。